

# 松戸市糖尿病性腎症重症化予防プログラム

## 「CKDシール」について



松戸市薬剤師会  
副会長 横尾 洋

## ■松戸市糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

□2017年10月

松戸市医師会の提案により

「松戸市糖尿病対策推進会議準備会」設置

□2018年4月

「松戸市糖尿病対策推進ネットワーク会議」設置

松戸市医師会 会長 東 仲宣先生

松戸歯科医師会・松戸市薬剤師会・松戸市立総合医療センター・

松戸市 国民健康保険課、健康推進課、高齢者支援課

- ・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の作成
- ・「CKD シール」作成に向けた検討

## ■松戸市糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

□2019年4月

市内医療機関に「松戸市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の配布および運用の開始

□2019年5月

薬剤師会会員に「CKD シール」の配布および運用の開始

## ■CKDシール運用経緯

### □バックグラウンド

2011年4月

「松戸市薬薬連携」発足 松戸市薬剤師会 & 松戸市立病院  
処方せん検査値記載に対する取り組み

2017年4月

松戸市総合医療センター(旧松戸市立病院)が  
処方せん検査値記載開始(事前に検査値の研修会実施)

※現在の「松戸市薬薬連携」  
松戸市総合医療センター、  
千葉西総合病院、東松戸病院、  
新東京病院、新松戸中央総合病院、  
東葛クリニック病院



## ■CKDシール運用経緯

2018年5月準備(シールデザイン、運用方法作成)開始

2019年5月運用開始

□2019年5月

薬剤師会会員にCKD シールの配布および運用の開始  
第一段階として処方せんに検査データが載っている  
総合医療センターの患者を対象に実施。

□8月

慈恵柏病院(処方せんにeGFRが記載)にCKDシールの  
説明をさせていただき、慈恵の患者への貼付のご了承  
をいただく。

東葛クリニック病院で院内での貼付開始  
院外処方せんの患者に対しても貼付開始

## ■CKDシール運用経緯

### □フォローアップ

- ・市内病院長会議にてCKDシールの取り組みについて説明
- ・「2019年度薬薬連携合同研修会」(年4回)はCKDにテーマを絞って開催 ⇒入院患者にも貼付開始
- ・多職種研修会、講習会などでCKDシールの紹介
- ・医師会の会報にCKDシール運用方法を紹介
- ・薬剤師会会員に対するアンケート調査(3回)
- ・薬剤師会新入会員に対する説明
- ・松戸市特定健診のポスターでCKDシールのアナウンス
- ・松戸市特定健診の検査項目に「eGFR」が追加
- ・検査会社にクレアチニン値とともに「eGFR」の記載を依頼
- ・CKDシールは社保の患者も対象

## ■CKDシール運用経緯

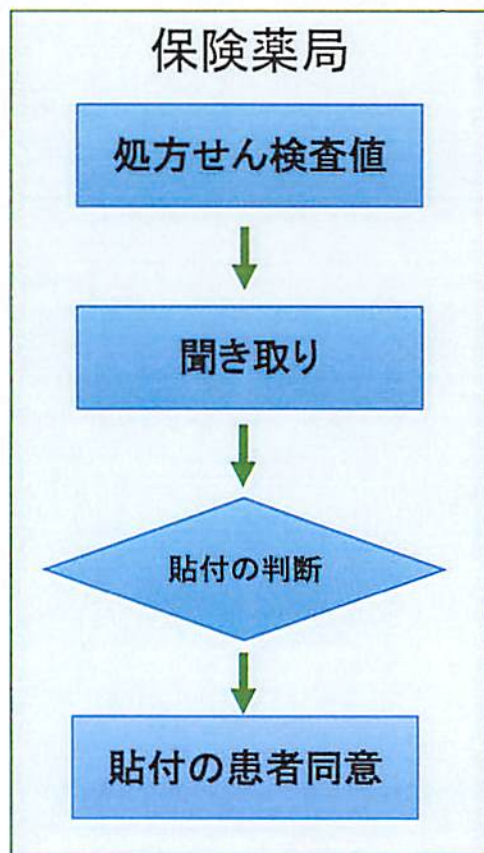
□いうことを聞かない薬局が続出

総合医療センター、慈恵柏病院の患者を対象にとお願いしてたが、それ以外の病院の患者にも貼る薬局が・・・

⇒特にトラブルなし。

⇒医療機関の制限解除（eGFRが確認できる患者を対象）

## ■CKDシールの運用方法



保険薬局薬剤師が処方せん記載の検査データ(eGFR)を基に貼り、eGFRの数値を記録する。  
(院内貼付は病院薬剤師が行う)

服用薬などの影響による一過性の低下の場合もあるので、患者からの聞き取りを行う。

基本的に貼付基準に合致することを確認したら貼る。eGFRが改善、または悪化してその状態が継続していると判断された場合は必要に応じてシールを貼り換えや、剥がすことができることとする。  
⇒シールは剥がせます！

**$30 \leq eGFR < 50$  ml/分/1.73 m<sup>2</sup>の場合**

できるだけ単純で継続しやすい基準を心がけました。

**$eGFR < 30$  ml/分/1.73 m<sup>2</sup>の場合**





## ■CKDシールの運用方法

eGFR<50 ml/分/1.73 m<sup>2</sup>とした理由



松戸市糖尿病対策推進ネットワーク会議での糖尿病性腎症のリスクが高い方の抽出条件

空腹時血糖（126mg/dl以上）、HbA1c（6.5%以上）の他、腎機能の項目として、

①～③のいずれかに該当する。

①尿蛋白（+）以上

②eGFR45ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満

③尿蛋白（±）でeGFR45ml/分/1.73m<sup>2</sup>以上60ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満

eGFR<60 ml/分/1.73 m<sup>2</sup>だと成人の1割程度が該当（⇒貼付の手間を考慮）

eGFR<50 ml/分/1.73 m<sup>2</sup>を確認した時点で貼付（⇒剥がせるシールを使用）

⇒60未満とする意見もありましたが、腎臓内科の先生と相談の上  
リスクとシール貼付の負担を考慮して50未満でスタート

# ◆資材

## ◇「CKDシール(剥がせるシール)」



80,000枚



20,000枚

¥180,000(税別、@ ¥1.8)

## ◇「CKDシール運用マニュアル」



# 薬剤師会HPよりダウンロード

## ◇「eGFR記録用紙」



## ◇患者さん説明チラシ

### 「CKDシール」とは

**あなたの腎臓を守ります!**  
「CKDシール」とは

「慢性腎臓病(CKD)」は、腎臓の働きが悪くなるものですが、お薬の中には腎臓に負担がかかるものがあります。そのため、CKDの患者さんには、腎臓の働きに合わせてお薬の種類を変更したり、量の調整が必要な場合があります。

「CKDシール」は、CKD薬化予防のための目印になるものです。新たに病院にかからずとも薬局でお薬を受け取る際には、「CKDシール」を貼ったお薬手帳を必ずお見せください。

- ◆ 病院にかかるときに見せましょう!  
病院での処方や検査、お薬の処方には、CKDの情報が必要になることがあります。医師さんでも必要になることがあります。
- ◆ 薬局でお薬を受け取る時に見せましょう!  
内服の処方せんでお薬をもらうときはもちろん、市販薬を購入する時にも見せてください。処方箋や検査結果などでも正しい情報が伝わる場合があります。
- ◆ こんな場面でも!  
お薬さんからの薬の相談を受けるとき、生活習慣の改善を受けるときなどにも見せましょう。

シールは、薬局薬局で、腎臓の働きに合わせて緑色か赤色のシールを、お薬手帳にお貼りします。

当院方針・処方薬の選択には、eGFRの数値が必要となるため、検査結果の届いた用紙をお手帳の裏紙の裏などに貼り、数値を確認して、最新の検査値を参考にします。

患者さん説明用紙(薬剤師会HPよりダウンロード)

## ◆患者さんへの説明と同意



あなたの腎臓を守ります！

### 「CKDシール」とは

「慢性腎臓病(CKD)」は、腎臓の働きが悪くなるものですが、お薬の中には腎臓に負担がかかるものがあります。そのため、CKDの患者さんには、腎臓の働きに合わせてお薬の種類を変更したり、量の調整が必要な場合があります。

「CKDシール」は、CKD悪化予防のための目印になるものです。新たに病院にかかるときや薬局でお薬を受け取る際には、「CKDシール」を貼ったお薬手帳を必ずお見せください。

#### ◆ 病院にかかるときに見せましょう！

病院での治療や検査、お薬の処方には、CKDの情報が必要になることがあります。歯医者さんでも必要になることがあります。

#### ◆ 薬局でお薬を受け取る時に見せましょう！

病院の処方せんでお薬をもらうときはもちろん、市販薬を購入するときにも見せてください。風邪薬や痛み止めなどでも注意が必要な場合があります。

#### ◆ こんな場面でも！

栄養士さんから栄養指導を受けるとき、生活習慣の指導を受けるときなどにも見せましょう。



- シールは、保険薬局で、腎臓の働きに合わせて緑色か赤色のシールを、お薬手帳にお貼りします。



30 ≤ eGFR < 50 mL/分/1.73㎡

- 治療方針・処方薬の選択には、eGFRの数値が必要となるため、検査値の記録用紙をお薬手帳の表紙の裏などに貼り、数値を記録して、最新の検査値を参考にします。



eGFR < 30 mL/分/1.73㎡

- CKDシールの必要性
- CKDシールの活用の仕方
- eGFRの記録の必要性
- CKDに対する自覚の促し
- ご本人または家族等の同意



## ■アンケート結果

□貼付数(第3回アンケート・2020.5.31現在)

緑:全体で524枚 (Max. 224枚/店、Min. 0枚/店)

赤:全体で301枚 (Max. 100枚/店、Min. 0枚/店)

合計:825枚

- 処方せんに検査値が記載されてる総合医療センターの患者が多い
- 総合医療センターの患者数が少ない薬局は対象患者が少なく貼付枚数が少ない。
- 薬局間で温度差あり

□eGFRを確認できる患者さんの割合はどれくらいですか？

(第3回アンケート、回答数44)

□0～20% 28(66%)      □20～40% 8(18%)

□40～60% 1(2%)      □60～80% 2(5%)

□80～100% 3(7%)      無回答・不明 1(2%)

## ■アンケート結果

□貼付が進まない理由(第3回アンケート、回答数44、複数回答、該当患者の貼付が完了している10薬局は除く)

- ・該当患者なし 7
- ・忘れた 4
- ・必要性を感じない 0
- ・時間の余裕がない 5
- ・シールの運用方法が分からない 0
- ・無回答・その他 31

□CKDシールは患者にご理解いただけましたか？

(第2回アンケート、回答数32)

- ・すぐに理解いただけた 8(25%)
- ・説明が必要だった 10(31%)
- ・ご理解いただけず貼付に至らなかった 2(6%)
- ・無回答 12(38%)

⇒ 病気のレッテルを貼られるみたいでイヤ

## ■アンケート結果

□CKD シールの運用がきっかけで薬剤師はより腎機能を注意するようになりましたか？（第3回アンケート、回答数44）

□なった 28(64%)

□運用以前よりしているのであまり変わらない 9(20%)

□なっていない 3(7%) 無回答・不明 4(9%)

□ CKD シールの運用がきっかけで患者はより腎機能に注意するようになったと思いますか？（第3回アンケート、回答数44）

□半数以上の患者がなった 14(32%)

□なった患者は半数以下 7(16%)

□ほぼなっていない 10(23%) 無回答・不明 13(30%)

## ■アンケート結果

□ CKDシールは患者にとって有用だと思いますか？

(第3回アンケート、回答数44)

□有用だと思う 26(59%)

□どちらかと言うと有用 12(27%)

□有用だとは思わない 0(0%) 無回答・不明 6(14%)

□腎機能低下が理由で疑義照会しましたか？

(第2回アンケート、回答数32)

□した 10 □していない 15 □無回答 7



## ■アンケート結果

### □対象となった薬剤

- ◇ベザフィブラート200mg、ロスバスタチン2.5mg ⇒ ベザフィブラート中止
- ◇ネシーナ錠12.5mg、グリベンクラミド錠 10mg、マグミット錠750mg  
⇒ネシーナ中止、SU剤変更、心臓内科から糖尿病外来に転科
- ◇レボフロキサシン500mg ⇒ 減量
- ◇エクメットLD錠 ⇒ 変更なし
- ◇アムロジピン10mg、ランデル10mg ⇒ 変更なし
- ◇エクメットLD錠、オロパタジン10mg、ルパフィン10mg ⇒ 変更なし、腎臓内科医受診
- ◇カマ990mg ⇒ 変更なし
- ◇エナラプリル10mg ⇒ 変更なし
- ◇ファモチジン 20mg ⇒ 変更なし
- ◇スイニー400mg ⇒ 変更なし

## ■アンケート結果

### □ご意見・ご希望(抜粋)

- ◇患者さんによっては腎機能の低下を自覚されていない方もいらっしゃいました。実際、運用してシールはわかり易く効果的だと思われました。
- ◇この事業を総合医療センターだけでなく広く松戸市内のクリニックに広げてもらいたい。
- ◇薬局だけではなく医療機関(医師)への認知をひろめていただきたいと思います。
- ◇市立HPのptが少ないのと、門前のCLでeGFRを測定しておらず。もう少し多くのDr.がeGFRを測定して頂ければと思います。
- ◇CKDの診断をするのは病院なので病院で対応していただけるとありがたいです。薬局で説明したところ不快に思われた患者様がいらっしゃいました。

## ■ 課題

- ◇ 薬局間の温度差の解消
- ◇ 医療機関、医療従事者のCKDシールに対する認知の向上
- ◇ 開業医との連携
- ◇ 多病院での連携（院内貼付など）
- ◇ eGFRを薬局が知るためのシステムの構築
- ◇ 薬剤師会未加入の薬局
- ◇ CKDシールの評価方法の確立
- ◇ 市外の医療機関への周知
- ◇ eGFR記録用紙について耐久性の問題
  - ⇒ 松戸ではシールを検討（千葉県のお薬手帳に盛り込むことはできないか）



あなたの腎臓を守ります！

# 「CKDシール」とは

「慢性腎臓病(CKD)」は、腎臓の働きが悪くなるものですが、お薬の中には腎臓に負担がかかるものがあります。そのため、CKDの患者さんには、腎臓の働きに合わせてお薬の種類を変更したり、量の調整が必要な場合があります。

「CKDシール」は、CKD悪化予防のための目印になるものです。新たに病院にかかるときや薬局でお薬を受け取るときには、「CKDシール」を貼ったお薬手帳を必ずお見せください。

## ◆ 病院にかかるときに見せましょう！

病院での治療や検査、お薬の処方には、CKDの情報が必要になることがあります。歯医者さんでも必要になることがあります。

## ◆ 薬局でお薬を受け取るときに見せましょう！

病院の処方せんでお薬をもらうときはもちろん、市販薬を購入するときにも見せてください。風邪薬や痛み止めなどでも注意が必要な場合があります。

## ◆ こんな場面でも！

栄養士さんから栄養指導を受けるとき、生活習慣の指導を受けるときなどにも見せましょう。



- シールは、病院か保険薬局で、腎臓の働きに合わせて緑色か赤色のシールを、お薬手帳にお貼りします。

- 治療方針・処方薬の選択には、eGFRの数値が必要となるため、検査値の記録用紙をお薬手帳の表紙の裏などに貼り、数値を記録して、最新の検査値を参考にします。



$30 \leq eGFR < 50 \text{ mL/分/1.73 m}^2$



$eGFR < 30 \text{ mL/分/1.73 m}^2$